

* 花の寄せ植え教室開催しました *

前号で参加者を募集した標題のイベント、17名ご参加のもと開催しました。

資材運搬の省力化のため作業はフラワーうささんのビニールハウスを借りて行い、先生役の久野マネージャさんと菅原会長のアドバイスを受けながら、春を先取りする10種類の花を思い思いにアレンジしたフラワーポットを小1時間で仕上げました。

今回は、同ハウスで技能研修中のベトナム人女性スタッフ各位もサポーターとして加わってもらえ、スムーズに作業が進みました。

持ち帰った作品は門口を華やかに飾られ、多くのひとの目を楽しませてくれる筈です。



↑ 作品を前に集合写真 (花もきれい!)

ほぼボランティア待遇の出役にもかかわらず、手抜きなど一切せず、誠実に作業をこなす津房のオイスンの方の伝統は津房の誇りです。出役各位には本稿にて厚く御礼申し上げます。

地区内各集落の共有林をはじめ、地区の森林資源が集中する樺の木山を横断する約6kmの林道の草刈りや側溝さらえをする維持管理事業(市から受託)、ことしは12月2〜4日の3日間に行いました。

例年どおり、区長各位・当協議会役員・昨年参加頂いた有志各位を対象に参加者を募ったところ、32名の方より計43人日のご応募をいただきました。

3日間とも作業日和に恵まれ、また、出役各位の奮闘のお陰で作業は順調に進み、予定通りの日程で見事な出来映えに仕上げさせて頂きました。

管轄部署(林業水産課)へ完了報告書を提出しに出向くと、すでに現地確認を終えた担当者から「今回も上出来です!」との高評価の言葉を貰いました。



↑ ササ、カヤと奮闘中 第一日目の18人 →



樺の木林道の維持管理事業

【日時】 令和7年1月15日(水)
 午前9時30分(調理体験もされたい方)
 午前11時30分(講座からご参加の方)
 なお、講座は約30分間で、12時から皆さ
 んで試食(約30分の昼食)です。

【場所】 津房地区公民館

【募集人数、参加料】 20人程度、参加費
 無料

* 予約なしの当日ご参加でも結構ですが、
 まちづくり協議会の事務局(岡または井福)
 へ予めお届け頂くと有難いです。

【予定メニュー】

- ① かちえびチリシ
- ② 簡単けんちん汁
- ③ 小松菜とリンゴおろし和え
- ④ かぼちゃとブロックリーの味噌マヨ
- ⑤ ヨーグルトトライフル(デザート)

県の施策である「生涯健康「元気な食卓」推進事業」に呼応し、各地で食生活改善運動が展開されていますが、当津房地区でも開催されます。

今や、健康づくりは食生活の改善からは定説となっており、短時間の講座、実際の調理体験と試食を通じてそのコツを習得して頂くとの会です。

元気で長生きしたい方、奮ってご参加ください!

食生活改善事業開催します

2日目12人

3日目13人



令和5年度宇佐市環境整備事業交付金を活用して設置した由緒書き看板のうち、板場の六地藏さまの記載内容

板場の六地藏

お地藏様の正式なお名前は「地藏菩薩」で、仏教では、お釈迦様が亡くなられて以降は現世には仏が存在しなくなり、次の仏と弥陀菩薩が悟りを開くのは数億年後とされ、それまでの間、仏に代って人々を救い導く役目を任されているのが地藏菩薩とされています。

人間が死んだあと、生前の善行や悪行によって行く先が地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の六道(りくどう)に分かれていることされており、程度の差はあるものの、この世界も苦しみから逃れることは出来ず、それらの苦しみを救う六種類の地藏菩薩を並べてお祀りするのが六地藏です。

(但し、仏教でも宗派によってこの教えは当てはまらない) 道端に祀られた六地藏は、旅の安全や道の安全を守る神様、または悪霊の侵入を防ぐ守りとして、全国各地の村境や辻(交差点)に多くあります。

板場集落から松本集落へ通する里道の辻に祀られたこの六地藏は、一時行方不明になったとの伝説もありますが、村はずれから村人を見守り続けて頂き、六地藏さんに救われたという人も居て、古来集落民から敬愛されてきました。

津房では東恵良の地藏極楽入口にも六地藏さんがおられます。

案内板設置 津房地区まちづくり協議会



板場集落を一望できる場所に鎮座されています

⑥ 令和5年度に設置した由緒書き看板の紹介は今回で終わりです。次回以降、令和4年度設置分を順次紹介いたします。